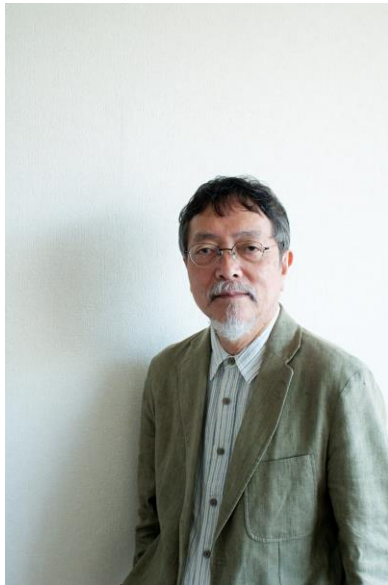


**11/6(日)京都開催！「伝統のチカラ、芸能のカタチ」事業
対談 池澤夏樹×木ノ下裕一「古典と向き合う -文学と演劇-」**



池澤夏樹



木ノ下裕一

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)アジアセンターは、「伝統のチカラ、芸能のカタチ」事業の一環として、ロームシアター京都との共催で、KYOTO EXPERIMENT の協力のもと、対談 池澤夏樹×木ノ下裕一「古典と向き合う -文学と演劇-」を開催します。

当代の作家が古典名作を現代の言葉に訳す「日本文学全集」を個人編集する作家・詩人の池澤夏樹と、古典演目上演の補綴・監修を行いながら現代における歌舞伎のあり方を問う木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一が、文学と演劇、それぞれの過去を現代に、そして未来へとつなげる試みについて対談します。

つきましては、貴メディアでのイベントのご紹介、当日のご取材をご検討いただけますと幸いです。

【日程】	2016年11月6日(日)10時～12時
【会場】	ロームシアター京都 パークプラザ3階 (京都府京都市左京区岡崎)
【内容】	対談 池澤夏樹×木ノ下裕一「古典と向き合う -文学と演劇-」
【参加費】	無料(予約不要)
【言語】	日本語
【問合せ先】	国際交流基金アジアセンター「伝統のチカラ、芸能のカタチ」担当 TEL: 03-5369-6140 E-mail: info_dento@jpf.go.jp ※イベント詳細: 国際交流基金アジアセンターウェブサイト (http://jfac.jp/culture/events/the-power-of-tradition-the-form-of-artistry-161106/)

<「伝統のチカラ、芸能のカタチ」事業とは>

東南アジアと日本におけるキーパーソンたちとともに、伝統芸能の宝庫と言われるアジア各地で、伝統芸能を取り巻く社会状況を調査し情報を発信・共有することで、伝統のチカラを再発見し、現代の社会に適した芸能のカタチを考えていきます。現代を生きる私たちが伝統芸能の中に再び存在意義を見出し、そこに脈々と受け継がれる価値を再発見することで、相互の文化を尊重・理解しあいながら、アジアの人々とともに豊かな人生を歩むための糧とすることを目指します。

<p>●主催者・本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 アジアセンター文化事業第1チーム(担当:前田、遠藤) Tel: 03-5369-6140 / E-mail: info_dento@jpf.go.jp</p> <p>●取材に関するお問い合わせ: 国際交流基金 コミュニケーションセンター(担当:熊倉、森) Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp</p>
